

教科		数学		科目	中学校数学 I	単位数	6 単位
学年	中学 1 年	科		専攻・コース			
教科書		数研出版		副教材	自立学習		
学習到達目標		数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する力を高めるとともに、数学的活動のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断しようとする態度を育てる。					
評価の観点		正・負の数、文字式、1 次方程式、比例・反比例、平面図形、空間図形、資料の整理と活用において数学的な見方や考え方、技能、知識、意欲などから総合的に評価する。					
期	月	学習内容・項目		学習のポイントと到達目標			備考
前	4	正の数と負の数 加法と減法		<ul style="list-style-type: none"> 正の数・負の数の意味を理解し、また、それらで表された数量の意味を理解している。 正の数・負の数の加法、減法の意味を理解し、その計算ができる。 			
	5	乗法と除法		<ul style="list-style-type: none"> 正の数・負の数の乗法、除法の意味を理解し、その計算ができる。 累乗の表し方を理解し、その計算ができる。 			
	6	文字と式		<ul style="list-style-type: none"> 文字式で表すことのよさについて考えることができる。 文字式で表された積や商を\times, \divの記号を用いて表すことができる。 文字に数を代入することで、文字式が表す値を求めることができる。 			
	7	文字式の計算		<ul style="list-style-type: none"> 1 次式の加減の計算方法を理解し、計算できる。 文字を使った公式、数量が等しいことを表す等式、数量の大小関係を表す不等式の意味を理解し、表すことができる。 			
期	9	1 次方程式		<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事象の等しい関係について、方程式に表すことが出来るものがあることに気づく。 移項の意味や手法を理解し、移項を利用して方程式を解くことができる。 			

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考
後	10	比例 グラフ	<ul style="list-style-type: none"> 比の値や比例式の意味とその性質を理解し、比例式を解くことができる。 比例の関係のグラフの形とその特徴を理解し、比例の式からグラフをかいたり、グラフから比例の式を求めたりすることができる。 	
	11	反比例	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事象の 2 つの数量の関係を、変化や対応のようすに着目して、調べ反比例について考えることができる。与えられた条件から反比例の式を求めることができる。 反比例の関係のグラフの形と特徴を理解し、反比例の式からそのグラフをかきことができる。 	
	12	平面図形	<ul style="list-style-type: none"> 直線、半直線、線分、距離、弧、弦など用語の意味を理解する。 垂線、垂直二等分線、角の二等分線、円の接線の意味を理解し、作図ができる。 	
期	1	空間図形	<ul style="list-style-type: none"> 角錐の特徴を知り、展開図を描き、体積・表面積を求めることができる。 πを用いて、円錐や球の体積、表面積を求めることができる。 	
	2	度数分布表、ヒストグラム 代表値	<ul style="list-style-type: none"> 度数分布表、ヒストグラム、度数分布多角形について理解する。 平均値、中央値、最頻値について理解し、データの分析に活用できる。 相対度数の必要性と意味を理解し、資料の比較をすることができる。 	
	3	近似値、有効数字	<ul style="list-style-type: none"> 近似値、有効数字を理解し、資料の整理に活用することができる。 学習した内容を活用し、資料の傾向をとらえ、まとめ、説明することができる。 	